

## 2020年度第3回生物多様性の保全に向けたネットワーク会議（なにわECOスクエア）議事要旨

日 時：2021年2月19日（金）10～12時

開催形式：オンライン（zoom ウェビナー）

参加者：42人

共有資料：【資料1】生物多様性の恵みを感じるまち大阪 2050 に向けて

【資料2】都心における新・里山づくり

【資料3】生物多様性に配慮した居住地域づくり

【資料4】ビル街における日常の自然の創出

### ●第2回ネットワーク会議の振り返り

第2回の本会議終了後に参加者よりご提案いただいた「大阪市の施設を利用した新しい取組み」について、事務局より紹介。

（提案内容）

- ① 生き生き地球館本館から続く、なにわECOスクエアでの生物多様性啓発活動の一層の強化
- ② 大阪市、大阪府の公園施設に「自然と触れ合える環境」を用意し、知るや学ぶのアクションの前に、日常で「見る、触れる」の意識化
- ③ 大阪市施設の有効活用

### ●第3回ネットワーク会議議題

- 議題1 第3回テーマ提起「生物多様性の恵みを感じるまち大阪 2050 に向けて」（大阪府立大学 平井規央教授）

資料1に基づき、生物多様性の恵みを感じるまちに向けた企業の取組みについてご講演いただいた。

（質疑応答）

【質問】多奈川は土取の跡地ですか。アセスの時にゲンジボタルの調査を東川、西川で行い、結構生息していました。先日近くに行く機会があったので、見に行ったところ周辺の田んぼがほとんど放棄されており残念な状況でした。周辺と一体の自然環境の保全を考えないと、とおもいます。

【回答】岬町の「多奈川地区多目的公園」内の「多奈川ビオトープ」です。（ビオトープではなく、）周辺の水田について、昨年、地元の農家の方に聞きましたが、高齢化で作業が行き届かなくなり、棚田の奥から放棄されて行っている状態とのことです。イノシシの害も悪循環の一因となっているようです。セトウチサンショウウオ（カスミサンショウウオ）の生息地でもあったので、心配しています。

- 議題2 事例紹介「都心における新・里山づくり」（積水ハウス ESG 経営推進本部 環境推進部 佐々木正顕）

資料2に基づき、都心における新・里山づくりについてご講演いただいた。

（質疑応答）

【質問】シジュウカラの例が出ていましたが、生き物が捕食する事で農薬を使わないなど、具体的な数値はこの新・里山や5本の樹計画でのモニタリング結果から得られたものでしょうか？それとも既存研究からの情報でしょうか。

【回答】より客観的に説得力を持って理解していただくために、日本野鳥の会の研究資料のデータを引用させて頂きましたが、ドイツの研究でも同じような調査結果が出ています。できるだけ多様な研究者や専門家の方々の知見をいただいて、それをベースにしながら日々の活動の参考にしている状況です。

【質問】この新・里山はすばらしいと思います。日常的に目にする市内の公園や街路樹を生物多様性的に素晴らしくないものから生物多様性に配慮したものに変わっていくにはどうしたら良いのでしょうか。

【回答】素晴らしくないとおっしゃる意味は、例えば虫や毛虫が出て近隣の方が嫌がるので農薬を撒く、落ち葉で掃除が大変だからとバツサリ伐るといった事だと思います。多くの場合は、それを主張する一部の住民の方の声だけが自治体に届くことへの反応でそういう過剰な政策判断がなされがちです。そういった課題については、多様な住民の方の意見っていうのは極めて重要で、まず、自治体に対して伝えていく活動を行っていただければと思います。自治体にとっても普段、植物があることへのクレームしか聞いてないのですから、住民の一部の方

ちでもいいので、生き物のことを考えて生物多様性や命の豊かさも考えながら自分たちの公園をよくしたいと考えている人たちがいる、自治体とともに考えようとしている人達がいるということ、役所の緑化担当者に教えてあげることです。それが届けば、では、どのようにしてそれを解決する方法があるかということ専門家などとともに考えるプロセスが生まれてきます。時間は必要ですが、少しずつ役所と共有していくことで徐々に変わっていきまじ、こういう公的空間が難しければ、子供たちに命の大切さを伝えようとしている近所の私立の幼稚園など、自分達でできる場所を変えていくといったことも有用なアプローチだと思います。

【質問】維持管理にビルのテナントで働く方々がボランティアとして参加されていると伺ったことがあります、テナントが入れ替わり新陳代謝があると思います。地域の方々がメインになったのでしょうか。また新・里山のコンセプトを継承していくためにどのような方法をとっていますか。

【回答】積水ハウスはビルオーナーの一社で管理会社も運営していますが、このビルは積水ハウスや東芝など様々な会社が共同して作ったものですから、維持管理に関しては他のテナントと一緒にやるのが重要だと思っています。一番植物や生き物に詳しい積水ハウスが事務局になって、ビルの中のテナントに呼びかけて一緒に田植えをしたり、野菜を作ったりする緑化のボランティア組織を作っています。例えばドイツの領事館の方たちが足を泥につけて田植えをしたりなど楽しいコミュニケーションが生まれています。また、それを共有するためのイベント情報コーナーをビルのテナントの人だけが使えるスペースなどに設けています。できるだけたくさんの人を巻き込んでいくという意味では、テナントにお声かけをしていくことを重視しています。また地域については、地域の小学校による田植えなどは、最初に田植えをした生徒さんがもう20歳という状況ですとずっと続いており、地域に愛されることでそういった活動が地域で共有できていると思っています。

【質問】5本の樹の計画について教えてください。

【回答】積水ハウスの5本の樹の計画は、まさに住宅地に生き物が生息できる小さな里山をお客様と一緒に作りたいという思いのチャレンジです。すでに全国で1611万本もの木を植えています。現在その生態系保全の実効的なマクロ効果を分析中で、この夏には発表したいと思っています。

【質問】コロナ禍により人間の生活は変わってしまいましたが、生き物の出現などにも影響が出ているのでしょうか。

【回答】逆に人間の生活や行動範囲が激減したことで、かえって生き物の行動範囲が拡大しているという調査結果が世界中の研究者から出ているようです。人間が無意識で行っていた活動がいかに自然にダメージを与えていたかが分かりますね。

【質問】地域コミュニケーションの場として緑地を使うのはすばらしいと思います。このような取組みを他の企業が始める場合、どこから手をつけたら良いのでしょうか。

【回答】緑化を生物多様性保全のためと大上段に構えてスタートしようとしてしまわずに、例えば、緑と接していることでその職場の労働者の知的生産性は上がるというアプローチで経営層や関係者に働きかけることです。今GAFA（Google、Apple、Facebook、Amazon）など欧米の大企業は労働者の生産性を上げるために郊外の緑豊かなエリアに本社を移転しています。ビルの資産評価についてもこうした緑の活用で価値が上がるという潮流が出始めています。詳しく説明する時間はありませんがよろしければ「バイオフィリア」で調べてみてください。

【質問】チョウの移動は理解できるのですが、都会の中心で、カブトムシやクワガタムシがいるというのはどこからか移植されたのでしょうか。元々生息していた広大な緑地や、連続して生息可能な河川にいるのはわかるのですが。

【回答】基本的には生物を連れてきて放すと言う人為的な導入は一切していません。そのために我々もカブトムシやクワガタの幼虫が見つかった時は驚きました。子供が放したのかどこからか飛んできたのか、不思議です。たださすがに数は少ないですが、こうした企業緑地や緑を備えた学校・公園など都会に緑が点在して広がっていくことで移動距離の短い生き物も含めた生態系のネットワークが出来ることを期待しています。

- 議題3 事例紹介「生物多様性に配慮した居住地域づくり」（大阪ガス 企画部 ESG推進室 楠井祐子）

資料3に基づき、生物多様性に配慮した居住地域づくりについてご講演いただいた。

【質問】事業所の緑化、従業員の居住空間の緑化から、街なか（不動産）の緑化と取組みが広がっていったというように理解しました。実際にグッドデザイン賞などを受賞されている事例に

ついて、お住まいの方からのご意見以外に、緑化されたことによる、経済的な効果なども明確に出ているのでしょうか？

【回答】経済的な効果は明確には分かりません。しかしながら、企業価値向上には寄与していると信じています。

【質問】姫路製造所の絶滅危惧種の植物の導入とは、移植ですか？移植元の環境についてどのような配慮をしていますか？

【回答】移植が多いです。移植に際しては専門家のご指導のもと移植元の環境にも十分配慮して実施しています。姫路製造所については、兵庫県立人と自然の博物館さま、兵庫県立大学さまのご指導をいただいていた。

- 議題4 事例紹介「ビル街における日常の自然の創出」（南海電鉄 経営政策室 SDGs 経営推進部 大西徳幸）

資料4に基づき、ビル街における日常の自然の創出についてご講演いただいた。

- 参加者アンケート 新しい活動や連携の提案「生物多様性の恵みを感じるまち大阪 2050に向けて」  
会議終了後に参加者に回答いただき、第4回の本会議実施時に結果をとりまとめてご報告する旨を説明。

- 次回案内

第4回生物多様性の保全に向けたネットワーク会議の予定：2021年3月18日（木）午前10時から（開催：オンラインにて実施予定）